

発刊によせて

令和3年度の教育要覧「戸田市の教育」の発刊にあたり、日ごろより本市教育行政の発展に御理解、御協力をいただいておりますことに、あらためて御礼申し上げます。

戸田市教育委員会では、先行き不透明な時代にあって、子供たちが自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくための力を育成すべく、産官学と連携した教育改革に積極的に取り組んでまいりました。今年度からは「戸田市教育大綱」、「第4次戸田市教育振興計画」、「第5次戸田市生涯学習推進計画」を施行し、その深化・充実を図っております。

その中でも、Subject（教科教育）、EBPM（Evidence-Based Policy Making）、EdTech（Education×Technology）、PBL（Project-Based Learning）の頭文字をとったSEEPプロジェクトは教育改革の重点であります。戸田市版アクティブ・ラーニング指導用ルーブリックを活用した授業改善をはじめ、GIGAスクール構想に先駆けたICTの活用のほか、子供たちが自ら発見した課題を解決する探究的な学びの推進を通して、21世紀型スキルや汎用的スキル、非認知的（社会情緒的）スキルの育成を目指しております。特に、今年度は、「教育政策シンクタンク」の機能充実を目指し、外部の有識者と連携しながら、部局を超えた教育データの分析を進めることで、エビデンスを参照した効果的な教育施策の展開へつなげてまいります。また、これらの充実にあたっては、GIGAスクール構想により整備された学習者一人一台端末と高速ネットワークを適切に活用するとともに、教育におけるDXの推進をとおして、学習や校務をはじめ、保護者、家庭との連携においてもICTを適切に活用し、令和の時代にふさわしい学校の在り方を研究してまいります。

この他、教育相談については、市内全中学校へ市独自にスクールカウンセラーを配置し、全中学校へ毎週1回以上の定期訪問を実施することで、相談体制の一層の充実を図ります。また、弁護士資格を有する教育委員会ロイヤーを配置し、学校経営や教育行政に関する法的な助言を得ることで教職員のコンプライアンス向上を進めてまいります。

さらに、教職員の働き方改革を推進するとともに、平成30年度より全小・中学校で導入したコミュニティ・スクールにより、学校と保護者と地域住民が協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを目指してまいります。

本要覧は、本市における教育行政全般、各教育機関及び学校の諸活動についての概要をまとめたものです。戸田市の教育施策と現状を御理解いただく一助として皆様に御活用いただきますとともに、今後とも本市の教育に対し、より一層の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年8月1日

戸田市教育委員会

教育長 戸ヶ崎 勤